
Lost

柊 雪華

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Lost

【Nコード】

N7936Q

【作者名】

柊 雪華

【あらすじ】

アシュレーを救うために再びミレニウムパズルに入ったりルカだったが、結局アシュレーを救えずに悲しみにくれる日々を送っていた。しかし、ある日アシュレーの感応石のエネルギーが検出され…。

やっぱり、あたしなんかじゃだめだったんだ…。
ごちゃごちゃと模様の刻まれた、ミレニウムパズルの箱を抱きしめる。

わたしはまた、大切な人を失ってしまったんだ……。

大好きだったお姉ちゃん。大好きなアシュレー。
もう、戻ってこないんだ。

心配してくれたみんなには、

「へいき、へっちゃら……」

なんて言っただけ、わたし、2度も好きな人を失って笑顔でいられるほど強くない。

泣き出したくてどうしようもなく。でもそんなことしたくなくて。

だから、わたしはシャトーの部屋にこもるしかなかったんだ。そこでずっと泣いて、泣いて。誰が来ても顔は見せられなかった。

そこにくるのはアシュレーじゃなかったから。わたしが会いたかったのはアシュレーだけだったから。

そんな風に意味のない毎日を過ごしていたある日、剣の大聖堂から感応石のエネルギーが検出されたって聞いた。

剣の大聖堂。

そこは、わたしがアシュレーを助けるために、ミレニウムパズルのゲートを開こうとした、あの場所。

アシュレーが、帰ってきたんだ。

急がなきゃ、急がなきゃ……。

タウンメリアまでもう少し、わたしはいつになく必死で走ってた。シャトーのある崖を駆け下り、邪魔な魔物は魔法でひたすらやつつけて、身体の限界が来ても、がむしゃらに走り続けた。

アシュレーのいる場所は、あそこしかない。

そう思っ、ひたすらに、走って。

そして、ついに初めて彼に会った懐かしいパン屋さんの前に立つ。ここだ……。

思えばあの時は半ば無理やりな感じでついていったけど、気づいたら、こんなにアシュレーの存在があたしの中で大きくなって。いつからなんだろう。今となってはわからない。

もし、もっと早く、気づいてたなら。

少しは、今のこの状況も変わっていたのかな……？

ねえ、アシュレー……？

パン屋さんの階段をのぼったところにある、アシュレーの部屋で、そう、わたしの目の前で繰り広げられてたあの光景を、わたしはたぶん、一生忘れないと思う。

わたしは。やつぱり、一度ならず二度までも、大切な人を、失いました。

やがてアシュレーがシャトーに戻って来て、新たな任務が言い渡された。

「——リルカ？」

何にも知らないアシュレーは、本当に何にも知らない瞳で、あの

わたしの大好きな澄み切った瞳で、わたしを見つめてくれる。

お願いだから、そんな瞳で見つめないで。

溢れる涙をこらえきれず、わたしはそっぽを向いて、彼にいつもの言葉を投げかけた。

「へいき、へっちゃら……ッ！」

止まらない涙を見られなくなかった。

マリナさんへのやきもちと、決められていた失恋に泣く、こんな醜いわたしを見られなくなかった。

アシュレーが何かわたしに言ってくれたみたいだけど、わたしはそれを聞く余裕なんかなくて。荷物を持ってくる、なんて見え透いた嘘について、わたしは部屋に向かって駆け出していた。

わたしたちの旅はきつとまだまだ続く。ファルガイアにあの陽光が戻るまで。

でも、陽光が戻る日までに、わたしのこの想いは消えてくれるのかな？

（後書き）

初WA小説ですね。ていうかりルカのつぶやきというか。

彼女の失恋イベントのあまりの痛さに、思わず書かずにいられなかったんですよ。

彼女は公式設定では14歳ですが、なんか微妙に大人っぽくなっちゃったかもです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7936q/>

Lost

2011年3月8日12時17分発行